

★理事長よりメッセージ★

”2年ぶりのバレーボール大会ができました”

ゲームはやっぱりプレーも見るのも「さいこう」に楽しいですね！

江東区バレーボール連盟 理事長 高本 敏行



令和2年2月に世界でコロナウイルス蔓延となり、区内体育館がワクチン接種会場となり2年間当連盟の大会すべてが開催できなくなりました。バレーボールが大好きな人達は、とても残念でしたが、やっと、やっと令和4年度からスタートした区民大会ができました。開催にあたり区の安全対策方針を受け、連盟内で更に検討を行い、「安全・安心」の大会開催が出来たと感じています。

大会のスタートは4月17日9人制男女を開催し、男子5チーム・女子2チームと大変チーム数の少ない寂しい大会でした。

次に5月8日6人制男女を開催予定としていましたが、9人制より少ない男子4チーム・女子1チームの参加申し込みでしたが、女子1チームでは試合ができず男子4チームでの大会でした。

家庭婦人は連盟登録53チームありますが、大会参加申し込みは予想に反し半分以下の23チームでの大会となり4月24日1日目を行い、決勝大会を5月22日ベスト8で行い、決勝のMJクラブと葵クラブのゲームは白熱した試合展開でした。見ている側も一つ一つのプレーの素晴らしいさに感動を覚えました。

5月25日から国の方針として、60歳以上に4回目ワクチン接種となり、江東区すべての体育館が7月1日から9月16日までワクチン接種会場となり、その期間の連盟大会と2年越しの墨東大会の開催ができなくなりました。大いに残念でなりません。

今までの2年間のコロナウイルス対策で練習も満足にできず、チームは存続していても人数が揃わないチームも多く、前記の区民大会への参加チームが少なかった実態は大変残念でありませんが、参加チームから大会開催を心から喜んでいただいた事は、連盟役員一同心強く感じ、大変嬉しく思います。

9月17日以降の大会も「安全・安心」にプレーしていただけるよう、皆様のご協力をいただき行っていきたくと考えております。

*** みんなで楽しいバレーボールをやりましょう**



★令和4年度 総会★

令和4年度総会（5/14）は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止となり、昨年と同様に書面総会となりました。

内規改定案、事業計画案は、議決権行使書

総数 165票 / 賛成 129票 / 無効 36票

により、原案通り承認されました。



新年度がスタートしました。

春季区民大会が3年ぶりに開催され、参加チーム数は例年に比べ少なかったですが、久しぶりに体育館に活気が戻り『やっぱり試合楽しいな！』という声をたくさん聞きました。が、それも束の間、大会会場であるスポーツセンターが4回目(7/1～9/16)のワクチン接種会場となるため、予定されていた部別対抗戦（家庭婦人）や墨東五区大会（江東区開催）はまたしても開催できない状況です。新年度登録チームも家庭婦人においては、廃部3チーム、休部7チームという状況でコロナ禍の影響は否めません。練習も思うように出来ない日が続きますが、頑張って乗り切りましょう！一日も早いコロナ収束を願い、体育館で元気な皆さんにお会いできますように！

(バレ美)

★第75回都民体育春季大会★

5月21日・22日小平市民総合体育館他で都民大会バレーボール競技

（一般9人制）が行われ、江東区代表として男子は耀友会、

女子は三省クラブが出場しました。

女子は残念ながら1回戦敗退となりましたが、男子は見事に準優勝しました。

また早朝より審判部4名も派遣され、会場設営や審判など従事しました。



← 準優勝した
江東区代表チーム
男子 耀友会

江東区代表チーム→
女子 三省クラブ



～訃報～

当連盟事務局次長兼会計の山口政江さんが、令和4年3月29日ご病気のため永眠されました。故人は長年連盟発展に尽力され、バレーボールを心から愛し、ユーモアに溢れ、人に優しく、いつも笑顔で温かな人柄でした。感謝とともに謹んでご冥福をお祈りします。

